

若者の地方体験交流 募集概要

しべつし
北海道士別市 (人口 : 18,524 人)

体験種目 : 農林漁業体験



令和元年 8 月と 9 月に、トマトや露地野菜の収穫をメインとした、
2 泊 3 日の農業体験を実施しました。
農業経験がなくても安心して参加できます。

(体験内容等)

- 地域の農家のところで、3~10 日以内の短期間の農作業体験。
- 体験できる内容は、受入先の農家によって異なります。ご相談内容に応じて、体験作物をご提案いたします。
- 体験内容例 : 水稲、トマト、馬鈴薯、南瓜など

(受入期間) 4~10 月のうち、3~10 日以内

(最寄りの交通機関・所要時間)

旭川空港⇒バスで約 4 0 分⇒JR 旭川駅⇒電車で約 1 時間⇒士別駅

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 士別市外に在住する 20 歳から概ね 45 歳以下の方で、農業に興味がある方
- 応募締切 随時対応
- 費用負担 参加費用なし
- 宿泊施設 各自手配
- 食 事 自己負担
- その他 作業しやすい服装を用意してください。

(担当者から一言)

士別市は、北海道北部の中央に位置し、農業を基幹産業とした水と緑豊かな田園都市です。
農業研修者として位置付けた「地域おこし協力隊 (農業支援員)」も募集しています。協力隊の前段として、一度士別市に来て、地域を見て、農業に触れてみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 北海道士別市経済部農業振興課 高橋 圭

TEL 0165-23-3121

E-mail noushinka@city.shibetsu.lg.jp

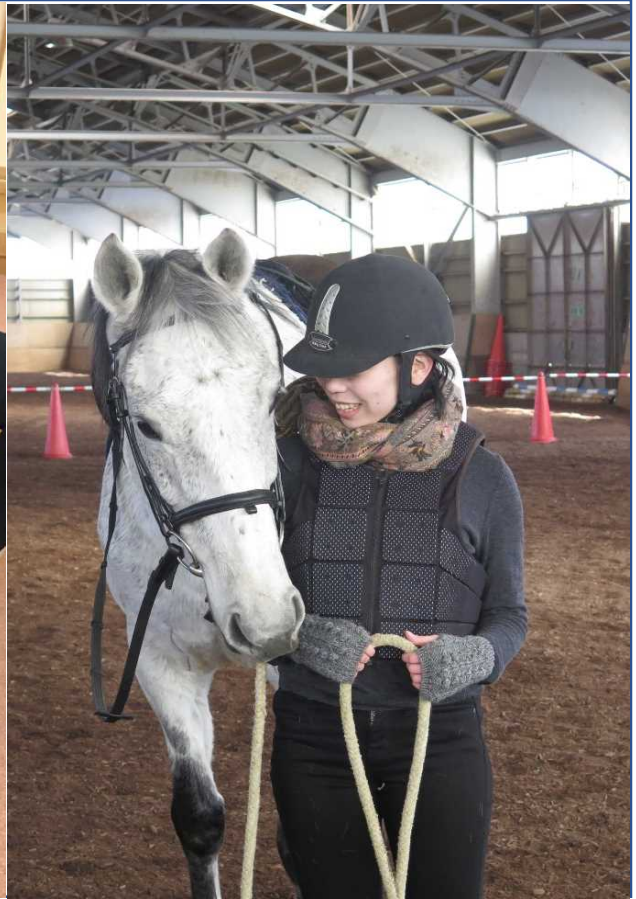
URL : <http://www.city.shibetsu.lg.jp>



若者の地方体験交流 募集概要

うらかわちょう
北海道浦河町 (人口: 12,141 人)

体験種目: 就業体験
暮らし・イベント体験



(体験内容等)

- ・就業体験 (保健事業の見学及び補助)
 - ・生活体験 (町内散策、乗馬体験、野鳥観察、カフェめぐり、交流会等)
- ※体験メニューは時期によって変動します。

(受入期間) 随時 (ご相談ください)

(最寄りの交通機関・所要時間)

新千歳空港より道南バス「特急ひだか優駿号」役場前停留所で下車 (約3時間)
札幌駅より道南バス「高速ペガサス号」役場前停留所で下車 (約3時間20分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 保健師を目指している方
- 応募締切 随時 (ご相談ください)
- 費用負担 参加費: 無料、交通費及び宿泊費: 補助有 (ご相談ください)、食事代: 自己負担となります。
- 宿泊施設 生活体験住宅、ホテルなど
- 食 事 自炊等
- そ の 他

(担当者から一言)

太平洋と日高山脈に囲まれた「競走馬のふるさと」北海道・浦河町で、地域に根差した保健師の就業体験と、自然豊かな暮らしの体験をしてみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 浦河町商工観光課移住交流推進室 荒木 麻里

TEL 0146-26-9013 E-mail ijuturn@town.urakawa.hokkaido.jp

URL : <https://www.town.urakawa.hokkaido.jp/kurashi/kenkou/hoken-center/2802sippu.html>





北海道鷹栖町で 農業体験しませんか



(体験内容等)【しごと体験】

- ①農業分野…町内農家での農作業体験、加工体験等 (季節によって内容検討)
 - ②福祉分野…社会福祉法人与自然、行政が一体となった介護施設での就業体験
 - ③保育分野…自然を活かした保育を実践する町内私立幼稚園での就業体験
- ※その他、希望があれば受入時期に応じて地域行事への参加等も可能

(受入期間) 通年を通して受入可 (日数は応相談) ※宿泊施設の利用状況次第で不可期間あり

(最寄りの交通機関・所要時間)

旭川空港⇒バスで約 40 分⇒ J R 旭川駅⇒バスで約 35 分⇒鷹栖町役場

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 田舎での暮らし、地域の人たちとの交流に興味、関心がある人
- 応募締切 随時受付中。町指定の申込書に必要事項を記入のうえ提出。
- 費用負担 ①現地までの交通費と食事代 : 自己負担 ②参加費・宿泊費 : 無料
- 宿泊施設 鷹栖町移住体験住宅 (町) またはゲストハウスあじさい (民間)
- 食 事 自炊
- そ の 他 ①農業分野を希望される方は作業に適した服装の用意が必要
②期間中の交通手段 (バス代、レンタカー手配等) は自己負担

(担当者から一言)

「ほどよい田舎、ほどよい都会」のまち鷹栖町。有名な観光施設等はないけれど、小さい町ならではの人と人とのつながりが生む“あったかすな出会い”を体感できます。まずはお気軽にお問い合わせください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 北海道鷹栖町総務企画課地域振興係 笠原佑太
TEL : 0166-87-2111 E-mail : kikaku@town.takasu.lg.jp
URL : <http://www.town.takasu.hokkaido.jp/ijyuu/index.html>



若者の地方体験交流 募集概要

しもかわちょう
北海道下川町 (人口: 約 3,300 人)

体験種目: 暮らし・イベント体験



ゆるく心地よい関係性を保ちながら、自分のリズムで暮らす下川町の雰囲気を感じ・体験しに来ませんか。

(体験内容等)

- 下川町の紹介 (町の取り組み説明や木質バイオマス関連施設などの見学)
- 町歩き、森歩き、ものづくり等各種体験
- 町民との交流 (オリエンテーションや町内で働く若者との交流会など)

(受入期間) 2泊3日 夏季・冬季開催 (実施日未定)

(最寄りの交通機関・所要時間)

○JR 名寄駅から名士バスで 20 分 下川町バスターミナル下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 40 歳以下であること
- 応募締切 開催の 1 週間前程度
- 費用負担 下川町までの移動費、昼食代、お土産代のみ負担 (町内滞在費は主催側負担)
- 宿泊施設 下川町地域間交流施設「森のなかヨックル」
- 食 事 町内飲食店、BBQ など
- その他 森のなかを歩くため、動きやすい恰好でお越しください。

(担当者から一言)

下川町は町の面積の 9 割を森林が占める森の町です。広大な森林や名寄川といった魅力あふれる自然を求めて全国各地から人が訪れます。2018 年には SDGs 未来都市に選定された、持続可能な社会づくりの最先端を走る町でもあります。自然に囲まれた生活を体験したい方、林業に興味のある方など、どなたでもお気軽にご連絡ください。

(お問合せ先)

下川町産業活性化支援機構 タウンプロモーション推進部 担当: 遠藤
TEL: 01655-4-3511 E-mail: endo@shimokawa-life.info
URL: <http://shimokawa-life.info/>



若者の地方体験交流 募集概要

しかおいちょう
北海道鹿追町 (人口: 5,255 人)

体験種目: 農林漁業体験



(体験内容等)

- 酪農研修 (1年間、4～3月) : 搾乳や乳牛の飼養管理などの研修
- 畑作研修 (7か月、4～10月) : いも・豆・ビートなどの栽培管理と収穫、出荷などの研修

(受入期間) 酪農研修 (1年間、4～3月)、畑作研修 (7か月、4～10月)

(最寄りの交通機関・所要時間)

とち帯広空港から車で約1時間

J R札幌駅～J R新得駅 約2時間30分 J R新得駅から車で20分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 ①鹿追町の農業や商工業に対して意欲をもって研修や実習等に取り組むことができる満18歳以上の単身女性で心身ともに健康である方(就学中の者は除く)、②普通運転免許を有していること
- 応募締切 随時(ホームページをご確認ください)
- 費用負担 来町及び帰省に係る経費、食費・光熱水費、物財費40,000円/月
- 宿泊施設 専用研修滞在施設有り(無料)
- 食 事 自炊(自己負担)
- そ の 他 参加者には月額180,000円の研修手当が支給される。地元青年団体等との各種研修、交流事業の実施

(担当者から一言)

大自然あふれる北海道十勝の「鹿追町」で、あたたかい仲間に囲まれ、農業研修、地元の青年たちとの交流事業に参加してみませんか?

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 北海道鹿追町役場 農業振興課 (担当: 津川、鳩)
TEL 0156-69-7122 E-mail ホームページ内のお問合せフォームから
URL : <https://www.tokachi.or.jp/puremalt/>



若者の地方体験交流 募集概要

しんとくちょう
北海道新得町 (人口: 6,082 人)

体験種目: 農林漁業体験



令和元年に放送されたNHK連続テレビ小説「なつぞら」のロケ地新得で北海道の農業を体験してみませんか。



(体験内容等)

- 酪農体験コース (搾乳、エサやり、牛舎清掃等)
- 畑作体験コース (除草、収穫、栽培管理等)

(受入期間) 7月1日(水)～9月30日(水)の間で1週間以内の体験

(最寄りの交通機関・所要時間)

新得駅から車で約15分

※駅から宿泊施設までは送迎します。

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 高校生以上の独身女性
- 応募締切 体験希望日の1ヶ月前までに申込書を下記担当者まで郵送してください。
- 費用負担 交通費: 自己負担 参加費: 無料
- 宿泊施設 公共施設(レディースファームスクール) 費用負担なし
- 食事 管理人が常駐しており、3食提供します。
- その他 道外から来られる方は2万円、北海道内(十勝管外の方のみ)は1万円の旅費の助成があります。

(担当者から一言)

北海道のほぼ真ん中に位置し、自然あふれる町です。就農を目指す独身女性のための研修施設として平成8年に開校し現在まで200名以上の修了実績があるスクールに宿泊し、農業体験してみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 新得町産業課農政係 石田 友亮

TEL: 0156-64-0525 E-mail: lfs-info@town.shintoku.hokkaido.jp

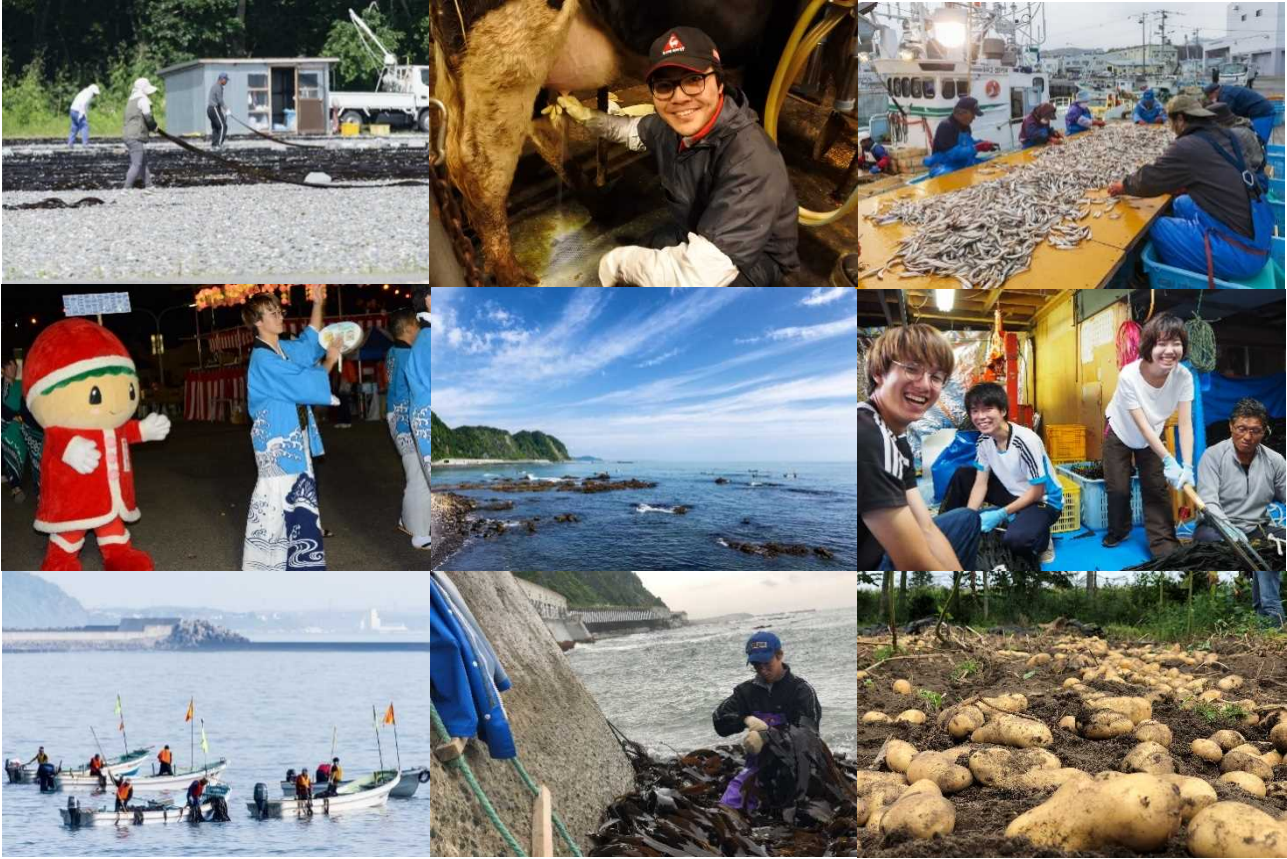
URL: <https://www.shintoku-town.jp/ladysfarm>



若者の地方体験交流 募集概要

ひろおちょう
北海道広尾町 (人口：6,652人)

体験種目：就業体験
農林漁業体験
暮らし・イベント体験



(体験内容等)

- 就業体験：看護・介護・保育現場での就業体験
- 農林漁業体験：農林漁業者宅でのインターン
- 生活体験：町内施設の見学、サーフィン、釣り、野菜の収穫体験などの体験プログラム
- 町民との交流、地域イベントの参加と協力（お祭り等）

(受入期間) 漁業体験：7月～10月、その他随時（ご相談ください）

(最寄りの交通機関・所要時間)

- ・札幌駅よりJR北海道バス「高速ひろおサンタ号」で広尾6丁目下車（乗車時間 約4時間30分）
- ・帯広駅より十勝バスで広尾役場前下車（乗車時間 約2時間40分）
- ・とちり帯広空港から車で約1時間

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 農山漁村での生活や、就業体験、まちづくり活動に興味のある大学生及び大学院生
- 応募締切 随時受付（希望する1ヶ月前までに事前相談をお願いします）
- 費用負担 現地までの交通費は自己負担
就業体験、農林漁業体験は参加費用なし、生活体験は内容によって費用負担あり
- 宿泊施設 公共施設（シェアハウス・移住体験住宅）またはホームステイ 費用負担なし
- 食 事 自炊 自己負担
- その他 作業ができる服装を用意してください。その他必要な持ち物は別途ご連絡します。

(担当者から一言)

広尾町は十勝管内の最南端に位置し、漁業・農林業を主幹産業として発展してきました。太平洋や日高山脈など、豊かな自然に恵まれ、黄金道路は国内有数のサーフスポットとしても有名です。また、新鮮な魚介類や乳製品など「食」を楽しむこともできます。体験交流をきっかけに、広尾町に来てみませんか。

一度来たら忘れられない地域になる。また来たい。そう思える体験ができると思います！！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 北海道広尾町 企画課 吉田 佳織（よしだ かおり）

TEL 01558-2-0184 E-mail k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

URL : <http://www.town.hiroo.lg.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

くろいしし
青森県黒石市 (人口 : 34,000 人)

体験種目 : 暮らし・イベント体験



- (体験内容等)
- ワーホリ黒石！
 - ・農業体験 (りんごの収穫など)
 - ・地域イベント (大川原の火流し、黒石ねぶたまつり、黒石よされ等) の参加体験

- (受入期間) 7月上旬～10月下旬 *随時募集・調整

- (最寄りの交通機関・所要時間)
- 新青森駅→(JRで約30分) 弘前駅→(弘南鉄道で約30分) →黒石駅
- 青森空港→(タクシーで約45分) →黒石駅

- (応募要件・注意事項)
- ○ 参加要件 主に県外在住の大学生、社会人
- ○ 応募締切 要相談
- ○ 費用負担 交通費：黒石市役所までは自己負担
 宿泊費：半額助成あり
 食事代：自己負担
 保険料：損害保険料は黒石市役所で負担
- ○ 宿泊施設 黒石市が提携した宿泊施設及び農家民泊
- ○ 食 事 朝：宿泊施設にて提供 昼：自己負担 夜：宿泊施設にて提供
- ○ そ の 他 作業ができる服装を用意してください。その他必要な持ち物は別途ご連絡します。

- (担当者から一言)
- 都市に暮らすみなさんが、一定の期間、黒石市に滞在し、就業体験(農業体験)を通じて、地域の人たちとの交流や伝統文化を体験していただく事業です。豊かな自然や美しい景観に囲まれた「米とりんごといで湯のまち」をまるごと体験しながら、新しい農業の価値を発見できます。農業に関心のある、みなさんからの応募を心よりお待ちしております。
 ～普通の旅行では体験できない!青森県黒石市に来て、地元のお祭りを観客ではなく、地元人として参加しよう!～

- (お問合せ先)
- 〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町 11 番地 1 号
- 団体名・担当部署・担当者名 : 黒石市農林部農林課六次産業化推進係
- TEL : 0172-52-2111 (内線 654、655)
- FAX : 0172-53-1839 E-mail : kuro-rokujika@city.kuroishi.aomori.jp

若者の地方体験交流 募集概要

とわだし
青森県十和田市 (人口 : 60,994 人)

体験種目 : その他



十和田市の伝統工芸に触れてみませんか？

(体験内容等)

- きみがらスリッパの製作体験

(受入期間) 毎月第3日曜日 (午前10時～午後3時) ※昼休憩1時間含む

(最寄りの交通機関・所要時間)

七戸十和田駅(東北新幹線) - 十和田市中央バス停(十和田観光電鉄株) - 道の駅とわだ匠工房
(30分) (タクシー-20分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 無し
- 応募締切 実施日の1週間前の事前予約が必要です。
- 費用負担 体験料金 3,500円 (材料費含む)
現地までの交通費 : 自己負担
- 宿泊施設 宿泊無し
- 食 事 各自
- そ の 他

(担当者から一言)

熟練の組合員でも作れるのは1日1足程度と手間と時間がかかりますが、足を入れた瞬間ふわりと包み込まれるような優しい履き心地で、1足約120gと非常に軽く、湿度を吸収・放出し夏は涼しく冬は温かいスリッパです。そんなスリッパ製作を体験してみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名

十和田きみがらスリッパ生産組合 事務局 (パワフルジャパン十和田内) 小泉啓司(こいずみけいし)

TEL 0176-28-3611 E-mail info@pj-towada.jp

URL : <http://www.city.towada.lg.jp/docs/2018021300021/>



若者の地方体験交流 募集概要

とわだし
青森県十和田市 (人口：60,994人)

体験種目：農林漁業体験



にんにく生産量日本一の十和田市で農業体験をしませんか？

(体験内容等)

- にんにく、ごぼう、長芋、長ねぎ等の植え付け・収穫等の農作業体験
- バラ焼き、すいとん等の郷土料理体験
- 農家民泊

(受入期間) 随時

(最寄りの交通機関・所要時間)

七戸十和田駅(東北新幹線) - 十和田市中央バス停(十和田観光電鉄株) - 受入農家へ
(30分) (タクシー等)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 無し
- 応募締切 随時
- 費用負担 体験料金・要相談 (例：1泊2日、2食(夜・朝)農業体験(半日) 7,200円)
現地までの交通費：自己負担
- 宿泊施設 農家民泊
- 食 事 食事体験(共同調理)として提供
- その他

(担当者から一言)

当協議会では、食の大切さと心と心のふれあいを実感できる交流を実施しています。野菜を育てる現場での作業や農家での団らんを通じて、ここでしかできない体験をしてみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 十和田農業体験連絡協議会 事務局 高屋繁雄(たかやしげお) |
TEL 080-8206-5608 E-mail homelov705@spice.ocn.ne.jp
URL : <http://www.city.towada.lg.jp/docs/2016122800051/>



若者の地方体験交流 募集概要

さんのへまち
青森県三戸町 (人口 : 9,869 人)

体験種目 : 暮らし・イベント体験



原料にこだわった加工品を作り販売、地産地消を実践している「貝守やまゆり会」。そんなやまゆり会のお母さんのネイティブな南部弁を聞きながら、よもぎ餅と串もちづくりを体験してみませんか？

(体験内容等)

地域の伝統色を伝える活動をしている「貝守やまゆり会」のお母さん達から学ぶ「よもぎ餅・串もち」づくり体験

(受入期間) 通年 (但し、年末年始、7・8月を除く 不定休)

(最寄りの交通機関・所要時間)

青い森鉄道三戸駅下車 三戸町コミュニティバス ウッドロフト貝守下車 (フリー乗降区間)

(乗車時間約 40 分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 なし
- 応募締切 体験希望日 10 日前までに
- 費用負担 体験料 1,000 円/人
- 宿泊施設 なし
- 食 事 なし
- そ の 他 体験受入人数は最少 2 名から最大 20 名まで
体験時間は 1 時間半から 2 時間程度
エプロン、三角巾 (バンダナなど) があればお持ちください。

(担当者から一言)

豊かな自然に囲まれ、りんごなどの栽培が盛んな三戸町。かつては三戸城が置かれ、城下町として栄えた歴史もあり、人気の絵本「11びきのねこ」の作者、馬場のぼるさんの出身地であることから、町の中では可愛らしいねこたちに出会うことができます。

そんな三戸町の昔ながらの味を体験してみませんか？

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 青森県三戸町 まちづくり推進課 北村洸香

TEL0179-20-1117 E-mail iju@town.sannohe.lg.jp

URL : <https://www.ondenya.jp/exp/3570>



若者の地方体験交流 募集概要

くじし
岩手県久慈市 (人口 : 34,654 人)

体験種目：農林漁業体験
暮らし・イベント体験
その他



久慈市の体験教育旅行
こころの体験



(体験内容等)

- ・自然体験…大自然を活用したアクティブな体験
- ・生活文化体験…伝統的な農山漁村の暮らしを体験
- ・農林漁業体験…第一次産業などの地域の産業を体験
- ・民泊体験…地域の方々とのふれあいを体験
- ・企業訪問…久慈市の企業を訪問

(受入期間) 2泊3日～1週間程度 (通年)

(最寄りの交通機関・所要時間)

受入時本部の平庭山荘まで

路線バス (白樺号) …盛岡駅から約2時間・いわて沼宮内駅から約1時間

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 特になし
- 応募締切 特になし、随時受付
- 費用負担 体験料：2,500円 (税抜き)、現地までの交通費：自己負担
- 宿泊施設 平庭山荘 (連携受入) 又は民泊体験：1泊2食付き7,000円 (税抜き)
- 食 事 自己負担、民泊体験は共同調理

(担当者から一言)

久慈市では、山里海の地域資源を活かした体験プログラムを実施しています。

地元の一般家庭に民泊することによってコミュニケーションの向上を促します。また、高齢化が進んでいるため第一次産業などの体験を行うことで、手伝いの一環となりボランティア活動にもつながります。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名

一般社団法人久慈市ふるさと体験学習協会 事務局員 菊池 一弘 (きくち かずひろ)

TEL : 0194-75-3005

E-mail : info@kuji-taiken.jp

URL : <https://www.kuji-taiken.jp/>



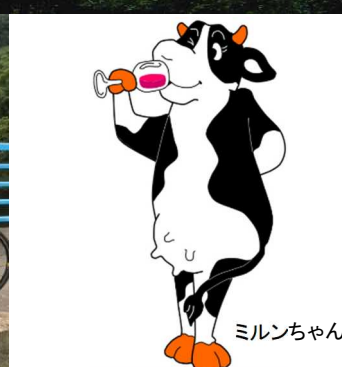
若者の地方体験交流 募集概要

くずまきまち
岩手県葛巻町 (人口 : 5,998 人)

体験種目 : 地域づくり活動
農林漁業体験

北緯 40 度 ミルクとワインとクリーンエネルギーの町

岩手県葛巻町のまちづくりに興味のある方の応募をお待ちしています！



(体験内容等)

- くずまき型 DMO を中心とした観光地域づくりプロジェクトへの参加
- くずまき高原牧場やくずまきワインなど町の基幹産業の見学や作業体験、イベント参加
- 地域住民や移住者との交流
- その他希望に応じて

(受入期間) ※通年でご相談に応じます。1 回あたり 2 泊 3 日程度を予定

(最寄りの交通機関・所要時間)

東京駅から東北新幹線いわて沼宮内駅まで約 2 時間 30 分
いわて沼宮内駅から葛巻町役場まで車で約 45 分 (ご連絡を頂きましたら担当者が送迎致します。)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 葛巻町の町づくりに興味のある方
- 応募締切 1 年を通じて随時相談に応じています。
- 費用負担 見学案内 : 無料、いわて沼宮内駅までの交通費、宿泊費、体験料 : 自己負担
- 宿泊施設 グリーンテージくずまき (利用料 : 5 千円程度)、くずまき高原牧場プラトール (利用料 : 6 千円程度)
- 食 事 宿泊先において提供 (宿泊費に含む)
- そ の 他 体験内容やスケジュールは、個々の希望に応じてコーディネートいたします。

(担当者から一言)

葛巻町のリアルタイムの情報は、「いらっしやい葛巻推進室」の Facebook ページをご覧ください。実際に現地を訪れる前に、東京で行われる観光や移住交流などのイベントで葛巻町の職員と会って話を聞くこともできます。お気軽にお問い合わせください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 葛巻町役場 総務企画課 移住定住係 高橋真衣
TEL 0195-66-2111 E-mail kuzumaki0106@town.kuzumaki.iwate.jp
URL : <https://www.town.kuzumaki.iwate.jp/bunya/irasshai/> (HP)
<https://www.facebook.com/irassyaikuzumaki/> (フェイスブック)



HP フェイスブック

若者の地方体験交流 募集概要

きたあきたし
秋田県北秋田市 (人口: 31,416 人)

体験種目: 就業体験
農林魚業体験
暮らし・イベント体験

四季を彩るたくさんの風景と
文化・歴史が色濃く残るまち
春夏秋冬それぞれが楽しい北秋田!



(体験内容等)

- 暮らし体験 (18 メニュー) …農業や林業、鉄道体験などを通じて、豊かな自然や地域の生活を楽しむプラン
- 仕事体験 (22 メニュー) …地域の企業で実際に就労体験をして、移住後の仕事について考えるプラン
- 教育体験 (2 メニュー) …秋田県の高い学力や柔軟な教育方法を、教育留学を通じて感じる体験プラン

(受入期間) 随時募集 (1泊2日から180日まで。ただし、先約がある場合は調整いたします。)

(最寄りの交通機関・所要時間)

- 飛行機:羽田空港-(約70分)-大館能代空港-(リムジンバス約15分)-市民ふれあいプラザ-(徒歩約3分)-市役所
- 鉄道:東京駅-(秋田新幹線約4時間)-秋田駅-(JR奥羽本線約1時間30分)-鷹ノ巣駅-(徒歩約8分)-市役所
東京駅-(秋田新幹線約3時間)-角館駅-(秋田内陸線約2時間30分)-鷹巣駅-(徒歩約8分)-市役所
- 高速バス:池袋駅-(ジレット号約9時間40分)-鷹巣(いとく鷹巣SC前)-(徒歩約15分)-市役所

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 現在の居住地が秋田県外(出身は問わない)で地方移住をお考えで、本市に興味のある方。
20歳未満の方は保護者の同意が必要となります。
- 応募締切 体験を希望する初日の15日前まで。指定の参加申込書等に必要事項を記載のうえ、下記担当部署まで郵送又はメールでお申込みください。ただし、先約がある場合は調整いたします。
- 費用負担 現地までの交通費、体験費、宿泊費、食事代などは自己負担。ただし、1世帯あたり5万円を上限に助成します。
- 宿泊施設 (1)北秋田市移住定住ネットワークセンター(移住体験用住宅、バリアフリー対応施設あり)
(2)市内ホテル・旅館
- 食事 希望に沿った体験プログラムを事前に作成しますので、プログラム掲載の昼食や夕食はアテンドしますが、アテンド外の朝食等は宿泊先が提供するものとなります。ただし、上記(1)は自炊となりますので食材の持込が必要です。
- その他 選択された体験内容にあった服装や装備をご用意ください。事前に準備いただくものをご連絡します。

(担当者から一言)

豊かな自然を有しながら、市内には大館能代空港があり、羽田空港から70分でアクセスできる秋田県内で最も首都圏に近い地域のひとつです。山とともに生きるマタギの文化、縄文遺跡、森吉山の高山植物など。歴史や伝統、自然といった魅力がギュッと詰まった北秋田の暮らしを体験してみませんか?まずはお気軽にお問い合わせください!

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 秋田県北秋田市 総務部総合政策課移住・定住支援室
松尾 周(まつお いたる)、藤島 あゆ美(ふじしま あゆみ)

TEL 0186-62-8002

E-mail iju@city.kitaakita.akita.jp

URL: <http://www.city.kitaakita.akita.jp/shisei/teiju/index.html>



若者の地方体験交流 募集概要

よねざわし
山形県米沢市 (人口：81,707人)

体験種目：地域づくり活動
農林漁業体験
暮らし・イベント体験



米沢人との心の交流を通じて、
あなただけの米沢の魅力を
ぜひ感じてください。
きっと素敵な出会い・繋がりが
生まれるはず・・・

(体験内容等)

- ・地域住民との交流 (地域行事・イベントに参加)
- ・農村民泊
- ・そば打ち体験、農作業体験
- ・雪かき体験など、四季を感じながらの日常の暮らし体験

(受入期間) 通年 (1泊2日 or 2泊3日)

(最寄りの交通機関・所要時間)

山交バス：米沢(南原)白布温泉 米沢駅～横道下車(乗車時間約25分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 市外在住者で、本市への移住・交流を希望している方
- 応募締切 原則として、希望する日の2週間前までに、参加申込書を提出先に送信してください。
- 費用負担 参加費用なし。ただし、交通費は参加者の負担となります。
- 宿泊施設 農家民宿
- 食 事 地域の方々による手料理
- その他 ※お試し暮らし後、体験レポートを提出していただきます。

(担当者から一言)

山形県の最南端に位置する米沢市は、豊かな自然と歴史に恵まれ、四季折々の風情を強く感じることができる地域です。春の咲き誇る桜や夏に色濃い緑の森、近くの間々を彩る秋の紅葉に、すべてを白く包む冬の雪も、地域の方々と交流・農家民泊を楽しみながら堪能できます。米沢ならではの農業体験や自然体験、日常の暮らし体験、ぜひお楽しみください。

(お問合せ先) 〒992-8501 米沢市金池五丁目2番25号

米沢市役所 総合政策課 地域振興担当

TEL 0238-22-5111 内線 2806

FAX 0238-24-4540

E-MAIL chiiki-t@city.yonezawa.yamagata.jp

若者の地方体験交流 募集概要

つるおかし
山形県鶴岡市 (人口：125,389人) ※住民基 R2.1.31 現在

体験種目：就業体験



(体験内容等)

- 本市の農業や漁業の生産現場を訪問し、生産者の工夫や食材がどのような場所で収穫されるかなどを学びます。
- 市内料理人から食材の選定や扱い方など料理人に必要な知識や心構えを学びます。
- 市内の飲食店や旅館等にインターンシップを行い、将来料理人として働くための就業体験を行います。

(受入期間) 4泊5日 (11月中旬～下旬予定)

(最寄りの交通機関・所要時間)

- おいしい庄内空港からバスで集合会場へ
- JR 羽越本線 鶴岡駅下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 料理人を目指す 40 歳未満の方
- 応募締切 8月～10月末 (予定)
- 費用負担 15,000 円～20,000 円 (予定)
- 宿泊施設 市内指定ホテルに宿泊 (宿泊費は自己負担)
- 食 事 研修行程内に含む (費用は参加費に含む)
- そ の 他 使い慣れた包丁等があれば持参ください。その他必要な持ち物は別途連絡します。

(担当者から一言)

鶴岡市は国内で唯一ユネスコ食文化創造都市に認定され、海・山・川・平野からもたらされる四季折々の豊かな食材、家庭では多様な郷土食が育まれてきた食や食文化に恵まれた地域です。こうした食材などを魅力ある料理として提供する料理人の育成に力を入れています。

この事業では、次世代の料理人に求められることは調理技術だけではなく、食材や食文化への深い知識、経験であるとの認識のもと、実際に活躍する料理人の講義や食文化に触れる機会を通じ、自己の成長を促す体験プログラムです。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 山形県鶴岡市企画部食文化創造都市推進課 渡部貴博
 TEL 0235-25-2111 E-mail syokubunka@city.tsuruoka.yamagata.jp
 URL : <http://www.creative-tsuruoka.jp/news-info/internship2019-report.html>



若者の地方体験交流 募集概要

つるおかし
山形県鶴岡市 (人口 : 125,389 人) ※住民基 R2.1.31 現在

体験種目 : その他



能楽青年交流事業

～能楽サークルの合宿受け入れます～



(体験内容等)

- 常設能舞台を使用した稽古合宿
- 地元若手能役者との交流会
- 地元で所有している能面、装束の鑑賞

(受入期間) 実施期間については事前にご相談ください (7～9 月)

(最寄りの交通機関・所要時間)

【電車】JR 羽越本線 鶴岡駅下車、路線バスで約 40 分

【夜行高速バス】庄内交通 渋谷線/新宿線/京都・大阪線 エスモールバスターミナル下車、路線バスで約 40 分

【車】山形自動車道 庄内あさひ IC より 15 分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学等の能楽サークルや研究会等、日々能楽の稽古に励んでいる方。
SNS 等により能楽合宿や「黒川能」について情報発信してくれる方。
- 応募締切 実施日の 2 ヶ月前。(※事前に電話、メールにて黒川能保存会へご連絡ください。)
- 費用負担 現地までの交通費：自己負担 食事代：自己負担
宿泊費：自己負担 (※農家民宿をご利用の場合は、一部助成あり)
- 宿泊施設 農家民宿 (農家民宿以外をご利用される方は各自手配してください)
- 食 事 農家民宿では朝・夕食を提供 (昼食は各自。斡旋可能)
- そ の 他

(担当者から一言)

鶴岡市黒川地区に伝わる「黒川能」は、春日神社の神事能として、500 年以上にわたり氏子である農民たちの手によって受け継がれ、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

黒川能の里で能楽を志す者同士交流を深め、ぜひ鶴岡の伝統文化、食文化に触れてください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 公益財団法人 黒川能保存会 秋山 かおる (あきやま かおる)

TEL 0235-57-5310

E-mail master@kurokawanoh.com

URL : <http://www.city.tsuruoka.lg.jp>

若者の地方体験交流 募集概要

なんようし
山形県南陽市 (人口 : 31,112 人)

体験種目 : 農林漁業体験



農業や食に興味がある方、季節の果樹や野菜、米などの栽培や収穫を体験しませんか。



(体験内容等)

- ・就農体験 (2~4泊を想定)
- ・農業体験で携わった農産物を食する交流会 (別日程で都内で設定予定)

(受入期間) 9月~10月 (2~4泊を想定)

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR山形新幹線赤湯駅下車 (体験場所まで担当者が送迎いたします。)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 三大都市圏をはじめとする都市地域から就農や6次化に従事する地域おこし協力隊員になりたい方や、新規就農を目指す方
- 応募締切 未定のため決まり次第HP等でご案内します。
- 費用負担 参加費無料 交通費の一部を市が負担します (上限2万円)
- 宿泊施設 費用負担なし
- 食 事 3食付き (費用負担なし)
- その他 作業できる服装を用意してください。詳細は参加者に別途通知いたします。

(担当者から一言)

南陽市は、肥沃な土地が広がっており、ぶどうやさくらんぼ、ラフランス、りんご等の果物や、つや姫、雪若丸、はえぬき等のブランド米の栽培が盛んです。

新規就農される若い方を支援していただける農業法人や先輩就農者がいますので、新規就農を目指す方をお待ちしています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 南陽市みらい戦略課企画調整係 木村 裕二
TEL 0238-40-0248 E-mail mirai1@city.nanyo.yamagata.jp
URL : <http://www.city.nanyo.yamagata.jp>



若者の地方体験交流 募集概要

さけがわむら
山形県鮭川村 (人口 : 4,142 人)

体験種目：農林漁業体験
暮らし・イベント体験



鮭が上る
川がある

豊かな自然と温かい人柄に囲まれた「そのまま」の暮らしを体験してみませんか。ご参加お待ちしております。



(体験内容等)

鮭川村への移住・定住に興味のある方向けの体験ツアー。

- ・豊かな自然に囲まれた「暮らし」の体験
- ・働き口となる農業施設の見学及び体験
- ・地元の住民との交流

(受入期間) 2日間 (年度内で2回程度実施予定)

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR山形新幹線新庄駅下車 車で15分程度。

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 特になし。
- 応募締切 令和2年度当初に決定。
- 費用負担 15,000円程度を予定。
- 宿泊施設 羽根沢温泉を予定。
- 食 事 未定。
- その他

(担当者から一言)

全国で唯一「鮭」が名前に入った自然豊かな農村です。名前のとおり鮭が遡上する清流「鮭川」がもたらす美味しい食べ物と温かい人柄に触れてみませんか。日本の原風景が今なお残る村での暮らしを是非肌で感じてみてください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 山形県最上郡鮭川村 むらづくり推進課 鈴木 紀臣 (すずき のりおみ)
TEL 0233-55-2111 (内線 281) E-mail suisin@vill.sakegawa.yamagata.jp
URL : <http://www.vill.sakegawa.yamagata.jp>



若者の地方体験交流 募集概要

山形県村山市（人口：23,643人）

体験種目：暮らし・イベント体験

雄大な自然と農村部、都市部が近い距離で共存しており「田舎暮らしで日常が大変」「自然が少なく大都市と同じ」ということがなく、気軽に自然満喫の田舎暮らしが送れる、田舎の「イイトコドリ」ができる地域です。

お米をはじめ板そばやサクランボ、スイカなど美味しい食べ物が沢山あります。



天然のじゅんさいが収穫できる「じゅんさい沼」
摘み取り体験もできます。



日本有数の規模を誇る「東沢バラ公園」
初夏には750品種2万株のバラが咲き誇ります。

（体験内容等）

○ お試し居住プログラム

村山市で就農や起業創業や事務所開設などを検討し移住をお考えの方向けに村山暮らしを体験していただくもの

（受入期間） 1泊から7泊まで（体験コースや宿泊施設に応じた日程をご相談させていただきます。）
5月～2月末（随時）

（最寄りの交通機関・所要時間）

- JR奥羽本線 村山駅下車（山形新幹線で東京駅から3時間）
- 山形空港（羽田空港から飛行機で65分）から車で15分

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 村山市に関心があり移住を検討している方
- 応募締切 随時受付（申し込み多数の場合は受付を終了する場合があります。）
- 費用負担 参加費は無料。ただし、村山市までの交通費、飲食費用は自己負担。
- 宿泊施設 市内のゲストハウスや宿泊施設
- その他 滞在中の移動手段として最大3日間レンタカーが無料で使用できます。

（担当者から一言）

山とあったかい人に囲まれたのんびりぐらし体験しませんか？「お試し」メニューを準備してお待ちしています。
農業から陶芸までオーダーメイドの村山ぐらしを体験していただけます。

（お問合せ先）

団体名・担当部署：村山市役所政策推進課地方創生係 担当：三澤依邦子

TEL：0237-55-2111 E-mail：seisaku@city.murayama.lg.jp

URL：<https://www.city.murayama.lg.jp>（詳しくは、担当までお問い合わせください。）



若者の地方体験交流 募集概要

きたかたし
福島県喜多方市 (人口：46,327人)

体験種目：農林漁業体験



喜多方ワーキング・ホリデー Working Holiday KITAKATA

蔵とラーメンのまち喜多方
市で
ありのままの農家生活を
体験してみませんか？



(体験内容等)

- ・農家民泊及び農業体験
- ・農業体験は、季節や希望により体験内容を決定

(受入期間) 原則 2泊3日以上 1週間以内 (4月から11月まで)

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR磐越西線 喜多方駅から徒歩15分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 農作業に真面目に取り組める方
- 応募締切 随時受付
- 費用負担 参加費・宿泊費・食事代：原則負担なし 現地までの交通費・傷害保険加入料：自己負担
- 宿泊施設 農家民宿
- 食 事 受入農家から提供
- そ の 他 詳しくは市ホームページをご覧ください。

(担当者から一言)

蔵とラーメンのまち喜多方で、ありのままの農家生活を体験してみませんか？

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 喜多方市・地域振興課・田中優多

TEL 0241-24-5306

E-mail chiiki@city.kitakata.fukushima.jp

URL : <https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/chiiki/120.html>



若者の地方体験交流 募集概要

もとみや
福島県本宮市 (人口 : 30,451 人)

体験種目 : 暮らし・イベント体験



(体験内容等)

- 本宮市を見て、泊まって、触れ合って、まるごと体験。
- ツアー内容はオーダーメイド。市職員がご案内します。
- 本宮市のいいところ、面白いところなど、魅力を発掘してください。
- 体験内容は随時、SNS を活用して発信をお願いします。

(受入期間) 年間を通して随時募集。(1件の申し込みにつき、1泊を想定)

(最寄りの交通機関・所要時間)

J R 東北本線 本宮駅または五百川駅 (東京駅からは約 1 時間 30 分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 県外在住で、本宮市の魅力を発掘・発信いただける方
- 応募締切 年間を通して随時募集予定。詳細は、本宮市移住定住ポータルサイト「もとみやぐらし」を参照。
- 費用負担 無料 (ただし現地までの交通費、宿泊費、食費は自己負担)
※ 別途、宿泊費補助制度あり
- 宿泊施設 市内農家民宿またはビジネスホテル
- 食 事 農家民宿に宿泊した場合は、夕食・朝食付き。その他は自己負担
- その他 SNS を活用した市の魅力発信にご協力いただける方に限ります。

(担当者から一言)

本宮市は、福島県のほぼ中央に位置し、東西南北にアクセス抜群の「福島へのそのまち」です。

コンパクトな市内には、多くの企業が立地し人の流れが大きい都市部から、おだやかな空間が広がる山間部があり、それぞれの地域で、住民の笑顔があふれています。

ポテンシャル無限大のまち、本宮市のまだまだ秘めた魅力と可能性を発掘してください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 福島県本宮市 政策推進課 木津 博樹 (きづ ひろき)

TEL 0243-24-5323 E-mail iju-teiju@city.motomiya.lg.jp

URL : <https://www.city.motomiya.lg.jp/site/teijyu/>

(本宮市移住・定住ポータルサイト「もとみやぐらし」)



若者の地方体験交流 募集概要

しょうわむら
福島県昭和村 (人口: 1,247 人)

体験種目: 農林漁業体験

夏秋期カスミソウ生産量日本一の昭和村で、「かすみの学校」に参加してみませんか？



(体験内容等)

苗の植え付け、収穫、選別、荷造り、出荷などの作業
(※カスミソウの生育状況や当日の天候により内容が変更になります。)

(受入期間) 6月～10月までどなたでも何回でも。1日～4泊5日まで。本村としては、3泊4日以上を推奨。

(最寄りの交通機関・所要時間)

- (電車、バス) 浅草 (東武鉄道「リバティ会津」) ～会津田島 (バス) ～昭和村 ※その他ルート有
- (車) 東京～西那須野 I.C.～南会津町～昭和村 (ナビ設定: 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島 652)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 高校生以上
- 応募締切 研修希望日の3週間前までをお願いいたします。下記HPからお申し込みください。
- 費用負担 無料 (交通費等の経費を除く) 3泊4日以上を希望される方には交通費の助成 (上限1万円)、傷害保険 (村で加入済み)
- 宿泊施設 村内旅館・民宿 ※宿泊予約は当方でおこないます。
- 食 事 朝食、夜食: 宿泊施設、昼食: 村内食堂 (一食1,000円程度)
- その他 農作業に適した服装、長靴、軍手、朝夜は冷えるので暖かい服装

(担当者から一言)

昭和村は赤ちゃんの吐息という別名をもつ「宿根カスミソウ」の夏秋期の生産量が日本一の村です。新規就農も盛んで毎年20代、30代の就農者が増えており就農後の支援も充実しております。田舎暮らしに憧れている方、都会の満員電車で疲れた方は是非昭和村の美味しい空気を吸いに来てください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 福島県昭和村 産業建設課産業係 小西圭佑 (こにしけいすけ)
TEL 0241-57-2117 E-mail sangyou@vill.showa.fukushima.jp
URL : <http://www.vill.showa.fukushima.jp/saibai.stm>

